

## 令和4年度第1回関市環境審議会 会議録

◆日 時：令和4年8月8日（月）14:00～16:00

◆場 所：関市役所 6階 6-2会議室

◆出席者及び欠席者 《敬称略》

(1) 出席者：田中 耕、津田 格、清水道隆、水野友有、井上好章、宮部英門、  
多田幸泰、鳥本勝則、早川貞子、中嶋 亘、平田和雄  
野田哲貴、裁 裕子、加納由香里

(2) 欠席者：各務剛児、藤井遼斗

(3) 事務局：津谷典男（市民環境部長）、後藤英矢（環境課長）、神戸功

(4) 傍聴者：なし

---

### 1. 開会

#### 【後藤課長】

本日はご多用の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。定刻前ですが欠席の連絡をもらっている方以外は全員揃いましたので、これより関市環境審議会を始めさせていただきます。

従来は、関市民憲章のご唱和をお願いしておりましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、ご唱和は省略させていただきます。なお、関市民憲章はお手元に配付してございます次第の裏面でございますのでご覧ください。

### 2. 委嘱状の交付

### 3. 副市長あいさつ

### 4. 会長、副会長の選出

#### 【後藤課長】

では、次第の4番でございますが、その前に、本会議の審査について確認をさせていただきます。先程の市民憲章の次の頁に委員名簿を掲載してございますが、当審議会は16名の委員数でございます。関市環境審議会規則第3条第1項の規定には「審議会の会議は、委員の半数以上の出席をもって成立する」とありますことから、本日もご出席の委員数は14名でございますので、委員の半数以上が出席となり、本日の会議が成立したことをご確認させていただきます。

次に、委員の皆様と事務局のご紹介ですが、今回は委員が変わって最初の会議となりますので自己紹介としてお名前と一言お願いします。

<各委員が自己紹介>

委員の皆さまの区分、専門・所属につきましては、名簿に記載のとおりでございます。

なお、各務剛児さんと藤井遼斗さんにつきましてはご欠席でございます。次に事務局側の紹介でございます

〈事務局が自己紹介〉

こちら（事務局の後列）につきましては、今回の第二期関市環境基本計画策定業務の委託業者である㈱創建さんでございます。

〈㈱創建自己紹介〉

それでは、次第の4番 会長、副会長の選出でございます。本日は、委員改選後、初めての会議ですので、正副会長の選任をお願いいたします。先程の関市環境審議会規則をご覧ください。まず、会長の選出につきましては、規則第2条第1項に「審議会に会長及び副会長各1名を置く」、第2項に「会長は、委員の互選により選出し、副会長は、会長が指名した者をもって充てる」としておりますので、会長は委員の皆様方の互選により選出となります。互選の方法につきまして、いかがいたしましょうか。

（委員意見なし）

【後藤課長】

意見がないみたいですので、事務局からの提案でございますが、前回に引き続き、今回も田中委員さんに会長をお願いしたいと思います、いかがでしょうか。

【委員】

異議なし

【後藤課長】

ご異議なしということでございますので、会長は田中耕さんに決定いたしました。それでは、田中さん、会長席にご移動をお願いします。

ここで、会長から就任のごあいさつをいただきたいと思っております。

〈会長就任あいさつ〉

【後藤課長】

ありがとうございました。

会長が決まりましたので、本審議会の議長は、慣例によりまして会長が行うこととなっておりますことから、これより会議の進行を会長をお願いしたいと思います。

会長さん、よろしく願いいたします。

**【田中会長】**

それでは、副会長の選出を行います。

副会長の選出につきましては、審議会規則第2条第2項の規定により、会長が指名するとなっておりますので、指名させていただきます。

いろいろと環境活動をされており、関市の環境に詳しい平田和雄さんが適任者であり指名したいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

平田さん、副会長席に移動してください。では、平田副会長からも就任のごあいさつをいただきたいと思ひます。

<副会長就任あいさつ>

5. 報告事項

- 1) 環境審議会の概要（位置づけ）について
- 2) 第二期関市環境基本計画策定について
  - ・策定に向けたスケジュールについて
  - ・現状の整理について
  - ・次期計画の方向性と体系案について

<事務局が資料に基づき説明>

**資料1** 第二期関市環境基本計画 計画策定に向けたスケジュール

<株創建が資料に基づき説明>

**資料2・3** 第二期関市環境基本計画 策定のポイント

**【田中会長】**

ありがとうございました。スケジュールについては資料1の通りで今年度中に策定するということですね。

委員の方、ご意見がございませんか。

**【平田委員】**

基本的には環境基本計画に肉付けしていくのか、新たに作るのか

今後20年間の計画を策定するのに2,3回の審議会で大丈夫か。市民の関わりということで、市民会議で確認しながらやったほうがいいと思うので時間が足りないと感じる。

**【後藤課長】**

基本的な考え方としては、現在ある計画の改訂、補足をしていく。

市民会議ではないが、HP等で意見を募集していきたいと考えている。

**【平田委員】**

環境審議会は諮問会議で、出された物に対して良いか悪いか判断すると思う。  
策定しながらとなると立場が違うのではと思う。

**【後藤課長】**

今回は方向性を出させていただき、これに肉付けしていくという進め方でいいか諮問させていただいている。

次回の審議会までに素案を作成し内容について検討してもらう予定です。

**【田中会長】**

第一期計画策定の時は何十回と審議会を開催していましたが、内容的には一回経験していることもあり今回はこのスケジュールで問題ないのかと思います。

**【鳥本委員】**

県の6次環境計画によく似ていると思う、参考にされているのだと思いますが。

今後、県の計画の見直しでは環境分野に踏み込んでいくと思う。化学肥料、化学農薬、有機農業、エリートツリーといった排出するほうだけではなく吸収するほうも考えないといけない。

関市は自然が豊富だが、適齢期の山が多いのに切れていない、人がいない状況であり吸収量も少なくなっている。

エリートツリーは10年以上前から研究されているが、二酸化炭素をたくさん吸収するし、早く成長するし、花粉も低減される。

県の計画も変更されていくと思うが、県の内容についていくのか、そのあたりはどのようにお考えか

**【中嶋委員】**

現実の関市の中の末端で起こっている問題がいっぱいあるが出てきていない。

山の問題では雨が多く木が倒れることも多い、農業では後継ぎがいなくて耕作していない農地が多い。

退職後に地元に着していろんな知らない問題があった。ゴミの問題では不法投棄が大変多い。市民の意見を聞いて、実際の問題を把握したいほうがいい

**【早川委員】**

環境課だけではなく市役所の各課に関連することが多いので連携した会議をやっていたきたい。

**【後藤課長】**

いろいろとご意見をいただきましたので、今後進めていく参考にさせていただきます。

**【田中会長】**

今日はいろんな意見をみなさんから出していただいて、今後の計画に盛り込んでいただくということですね。

これまでも市役所の各課で連携されていると思いますが、今後、関市内における諸問題にどう対応していくか検討されるということですね。

**【野田委員】**

脱炭素を目指すまちと基本目標にあるが、エネルギーの消費の実態を把握できているのか、公共施設の排出量だけなのか。関市は工場の排出量が多いと思うので、工場を対象とした目標を作らないと関市の脱炭素を目指すというのは形だけになる。

工場の担当は商工課になると思うので連携が必要、立地適正化計画についても結果的に省エネにつながるので、環境課だけではなくいろんな部署のデータを利用して計画を策定していくべきではないかと思う。

**【事務局神戸】**

現時点では、公共施設の温室効果ガス排出量しか把握していない。今後検討していく。

**【後藤課長】**

別の計画でエネルギーに関係することを進めているので、今後把握していく。

**【宮部委員】**

現状での排出量、吸収量は把握していないということか？

関市は森林が8割なので現状でゼロカーボンなのでは？

何をもってゼロカーボンなのか？

**【後藤課長】**

ゼロカーボンについては森林の吸収量と二酸化炭素排出量が実質ゼロの状態、現状では把握できていないですが、関市はゼロカーボンを達成していないと考えています。

今後、現状を把握していくことを進めたいと考えている。

**【宮部委員】**

全国一律的な計画がベースになっていると思われるけど、関市らしい環境基本計画を作りたいと思っています。

基本目標の順番で2番目に「資源を無駄なく使うまち」とあるのが違和感があるな、「自然と共生するまち」が前ではないのだなと思います。

**【田中会長】**

体系の並びということでしょうか。ゼロカーボンというのは市長が2月に宣言しているということが一番来るのでしょうかね。

一度計画を作ると、この体系についても見直しされるのでしょうか？  
この体系は20年間続くのですか？

**【後藤課長】**

見直しの時に体系の検討もできる。

**【平田委員】**

景観・公園の満足度が高いですが、公園があるということがいいのか。

実際には公園の草が伸びている、山に太陽光パネルが設置してあり景観がいいとは思えない。

アンケートの結果ということだと思うけど、アンケート内容等の吟味も必要だと。

ゼロカーボンについてですが、森林の吸収量等のデータはあるのですか。間伐によって森林の保水能力がどの程度あるのかというデータは農林課にあるのか。

僕の仲間が武芸川の寺尾千本桜が県の指定を受けてめぐみの森ということで活動をしているが、その活動について環境基本計画と照らし合わせて評価するのか、審議会から意見が言えるのかどうなのでしょう。

**【後藤課長】**

アンケートについては無作為抽出された人の回答であるため、回答者が平田委員の言うことまで考えているかどうかは不明です。

審議会から意見が言えるかどうかについては、相手方から審議の依頼があればできるかもしれないですが、こちらから動くことはないと思います。

**【田中会長】**

二酸化炭素の排出量、吸収量について、コンサル（創建）さんで計算できるのでは？

**【後藤課長】**

今回の業務の仕様には入っていない、別の業務で排出量を出せるように検討している。

**【早川委員】**

ゼロカーボンということであるなら、現在どれくらいプラスなのか？これをゼロにするにはどうしたらいいのか？ということが基本になると思います。

関市に森林がどれくらいあるのか、関市全体で電気、ガス等でどれくらい排出しているかをトータルで見えていかないと結果で出てこないと思う。

どれくらい植林したらゼロになってくるのか分かる基礎データが必要になってくると思います。

**【事務局神戸】**

ゼロカーボンシティ宣言について簡単に説明させていただきます。

2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロを目指すことを宣言した市町村のことをゼロカーボンシティと言います。

現状を把握して具体的な取組や目標を設定して宣言する市町村もありますが、関市については、世界的に脱炭素に向けた取組が進んでいる中で関市としても取り組まないわけにはいかないため、まず宣言をすることで市民に対して啓発すること、また宣言することにより市としての取組を進めなければいけなくなる。

#### 【田中会長】

まずは宣言ありきということですね、今後20年かけて達成していくということですね。世界的な潮流ですし、いつまでも化石燃料に頼ってはいけません。

現在もウクライナ問題で日本もエネルギーに困窮していますので、いい加減目を覚まして考えていかないといけないですね。

バイオマスの取組、薪ストーブもいい取組だと思います。一つの取組で達成できないから、今後いろんなメニュー、関市特有の取組も考えてもらえるといいかと思います。

#### 【加納委員】

食に関することに関心がありまして、食べているものからゴミが出てくると思う。農業に関することが入っていないと感じる。有機農業を応援するとか学校給食に地産地消を推進してもらえるといいと思う。

あと、言葉の使い方ですが、「資源を無駄なく使う」よりも「大切に使う」とか、「ゴミを出さない」よりも「リユースする」とか、もっと柔らかい表現で市民感情に入ってくるような言葉で計画されてくるともっと市民意識も変わってくると思う。

誰に向けて計画されているのかがもっと分かりやすいといいと思う。

また、ペットボトルのリサイクルについてもそもそもペットボトルというゴミが出ないような取組とかが目標に入ってくるといいのかなと思います。

#### 【井上委員】

アンケートの中で、きれいな川や山などの豊かな自然環境やおいしい水が自慢できることになっているが、施策体系の「安心して暮らせる快適なまち」の中では水に関することがなくなっている。また「安心して」というのが重要になってくるので河川環境の保全で命を守るが入っていない。また、熱中症や感染症の予防も大切な要素だと思う。

#### 【津田委員】

自然と共生するまちに関することですが、例えば重点施策の時代につなげるための環境教育の中にカワゲラウォッチングとあるが、実施校数は出てくるが実際に子供たちにどういった効果があったかが見えてこない。もうちょっと数だけではなく質が見えてくる指標が必要かと思うが具体的には難しいところがある。

これまでも市民参加で自然観察とかもやってきているので、継続的に市民と調査観察する取り組みをやっていけるといいと思う。

市平賀地内水路で生き物調査をしてきたと書かれているが、市平賀は開発されている状況だと思う。都市計画など上位計画にどういうものがあるかって今後関市がどのように変わっていくかを分らないと環境基本計画を策定しても実際には実現できるもの、できないものがあると思う。

#### 【清水委員】

迫間の山の中では不法投棄が多くて問題かと思っています。

鳥類については、みんなが知らない鳥がけっこういるので知ってもらいたいと思う。

小学生に説明するとこんなきれいな鳥がいるのだ、こんな鳴き声をする鳥がいるんだと驚いてもらえる。

#### 【水野委員】

私は各務原市民ですが、森があっても鳥の声よりも飛行機の音が気になります。関市はきれいな鳥の声をアピールすることは大事だと思います。

関市の総合計画の基本構想があって、その中で環境という切り口でどういうことができるのか、具体的に現場で起こっていることを反映していくことが大事。

基本目標も環境だけではなく福祉にも当てはまることも多いと感じる。

全体的にハード面に寄りすぎていると感じるが、ソフト面についても考えていけるいい

LGBTqは高校生発信であったので、教育的効果であると思う。若い人たちと取り組むことがいいと思った。

#### 【井上委員】

各課での連携についてですが、現状で環境について課長同士、課長補佐同士等で話す機会があるのか、今はないからこういう可能性なら機会が作れるとかなのでしょうか。

#### 【後藤課長】

ゼロカーボンについては環境課だけでは進められないので連携して進めることを検討している。その部分も含めて環境全体で連携していきたい。

8月中に庁内の担当課を対象にゼロカーボンの研修会を開催する。

#### 【井上委員】

連携会議みたいなものがあるようなら、その会議に環境審議会からも2名参加とかそういうこともできるのかと思いました。

#### 【田中会長】

役所はどうしても縦割りになってしまいますが、環境については全庁的に取り組まないとう

まくいかないことが多いので、より連携してもらえるといいのかと思います。

**【裁委員】**

基本的なことをお聞きします。施策の体系が並んでいますがもっと細かい部分についてもこの審議会で話し合うことはできますか？

体系作りが目的なのか？審議会の役割がどこまでなのかを知りたい。

**【後藤課長】**

今回の会議については、基本計画を策定するに対して委員に意見をお伺いしている。

細かいことについては、年度末の審議会で進捗状況について報告させていただき、それについて意見をいただいている。

**【多田委員】**

基本目標に「一人ひとりが将来の世代に責任を持って行動するまち」とあるが市民レベルで行動に移っていないように感じる。

アンケートでは乾電池、蛍光灯の拠点回収については低い。せっかくいい取組をしているが実際に少ないのは取組を知らないか、知っているがやっていないのかが疑問。

脱炭素、資源等とさまざまな取組があるが、行政の一方的な考えで市民が何もやっていないという状況が今後20年間続くことは問題。市民レベルまで情報を落としていくことが重要になってくると思う。

**【田中会長】**

このほかに、ご意見はございませんか。

**【加納委員】**

この会議室の照明が明るすぎると感じた。蛍光灯を半分だけ点けても十分だと感じました。

**【鳥本委員】**

平成30年7月豪雨がありましたが、今は流域治水という考え方があります。河川の改修は当然大事ですが、黒屋で田んぼダムという取組がある。

流域治水の考えを環境基本計画の中にも入れてもらえればと思います。

**【田中会長】**

では、本日の議事はすべて終了しましたので、本会議の進行を事務局にお返しします。

**【後藤課長】**

田中会長をはじめ委員の皆様、本日は、貴重なご意見をありがとうございました。

では、最後に市民環境部長の津谷からご挨拶を申し上げます。

**【津谷部長挨拶】**

**【後藤課長】**

これにて、令和4年度第1回関市環境審議会を閉会いたします。本日はお疲れ様でした。  
お気をつけてお帰りください。